

令和7年度 岐阜県立吉城高等学校 防災実施報告書

1 目標

自分や大切な人そして地域の方々の命を守るための思考力、判断力、表現力を身につけ、災害時には自ら考え、適切な行動ができる高校生をめざす。

2 主な取組の報告

(1) 異なる危険を想定した「命を守る訓練」の実施（全職員および全校生徒が参加）

令和7年 7月 2日	地震	予告ありのシェイクアウト訓練
令和7年 9月 3日	火災	全校一斉による避難行動の実施
令和7年10月17日	地震	予告なしのシェイクアウト訓練
令和7年11月14日	土砂災害	予告ありの全校一斉直上避難訓練

(2) マンホールトイレ設置訓練 6月20日（金）16：00～17：00

（2年生 防災リーダーおよび防災係の15名参加）

飛騨市役所危機管理課の職員の方からマンホールトイレの仕組みについてお話を伺った後、ご指導を受けながらハートピア古川駐車場にある災害用マンホールで実際にマンホールトイレの組み立てを行った。昨年度の「防災タウンウォッチング」で災害用のマンホール用の存在を知り、興味を持ち、実際に組み立ててみたいという思いが実現した形となった。組み立て後は実際に中に入り一人ずつ便器に座ってみた。実際に体験してみないとわからないことがあり、今回の「マンホールトイレ設置訓練」は、災害時のトイレ問題を考えるきっかけになった。最後に近くに設置されている飛騨市の災害時備蓄品コンテナの内部も見せていただき、よい勉強になった。



(3) 「防災士資格取得」の啓発活動（説明会）7月11日（金）昼休み

飛騨市では毎年「防災リーダー養成講座」を3日間実施し、最終的には防災士の資格取得を奨励している。昨年度本校では5名が防災士に合格している。今年度は、10名以上の合格者を目指して説明会を実施した。説明会には20名ほどの生徒が参加してくれたが、結果としては現在1年生5名、2年生3名が「防災リーダー養成講座」を受講し、12月の試験に向けて勉強中である。

(4) 防災講座（防災リーダーおよび防災係対象）9月12日（金）15：45～17：30

（2年生 防災リーダーおよび防災係の15名参加）

飛騨市役所の「市制見える化講座」の制度を利用して危機管理課の職員の方から「防災講座」を実施して頂いた。危機管理課の業務、想定災害とハザードマップ、災害への備え、TKB、防災士の役割、日本の防災の実態など多岐にわたって説明を受けることができた。特に災害時におけるTKB（トイレ、キッチン、ベッド）の備えが世界に比べて（例 イタリア）いかに遅れているかのお話には驚くこととなった。災害関連死を防ぐという視点を新たに持つことができた。



(5) 「防災タウンウォッチング」9月28日（日）9：00～12：00

（2年生 防災リーダーおよび防災係の4名参加）



毎年参加している飛騨市防災士会主催（飛騨市および飛騨市教育委員会後援）「防災タウンウォッチング」に今年度も参加した。「まちを舞台に見つける！考える！やってみる！」を合言葉に毎年飛騨市内の異なる地区をフィールドとワークするが、今年は飛騨市谷総合研修センターを拠点とし、古川西小学校エリアを探索した。地区の防災担当の方と共に防災士の方の指導を受けながらまちの中を歩き、もしもの時に気をつけたい場所を確認しながら自分の命を守るヒントを学んだ。特に今回は、平成16年の台風第23号で浸水や土砂災害を被った場所のフィールドワークとなったため「実績浸水深」の表示などを見つけながら驚きをもって当時の様子を学び、防災について理解を深めることにつながった。



(6) 2年生合同 LHR「防災について考えよう」11月5日(水)6時間目
(2年生 防災リーダーおよび防災系の20名が企画・運営)

①趣旨説明

②「防災について考えよう」概要説明および防災クイズの実施
防災について今年度の取組を発表するとともに防災のポイントの説明
およびクイズ形式で知識の確認をした。

③災害図上訓練(DIG)の実施

居住地区ごとに22グループ(1グループ4名程度)に分かれ、吉城
高校周辺のハザードマップを確認し、白地図に色分けする。その後、
危険個所を確認し、避難場所までの経路を考える。
また、いくつかの災害状況を想定し、グループ内での意見交換を行っ
た。その後全体でグループの感想を発表した。



(7) 令和7年度 学校総合支援事業「避難所運営訓練」11月15日(土)7:30~14:00
(2年生 防災リーダーおよび防災系の5名参加*当初9名参加予定であったがインフルエンザ
罹患等で5名の参加となった)



11月10日(月)の放課後に危機管理課の職員
の方から事前説明を受け、当日各グループ(中学生
および防災士の方)のリーダーとして活躍すること
となった。当日は、古川中学校1年生全員、協力防
災士、地元住民、飛騨市職員の方々と協力し、「マ
ンホールトイレ・災害用排便処理袋設置訓練」「避
難所設営(休息スペース)・避難所運営演習」「適温
でおいしく栄養バランスのとれた炊き出し料理・配
膳演習」に参加した。実際に段ボールベットをグル
ープで組み立てたり、避難してきた住民を受け入れ
たり実践的な学びができた。また、防災の専門家の方
の講義も受けることができ、有意義な時間であっ
た。



3 連携した組織など

飛騨市消防署 飛騨市役所 飛騨市防災士会 古川中学校

4 減災力テスト

回	平均点	実施学年
1	52.3点	2年生
2	55.7点	2年生

5 成果と課題

防災リーダーや防災系の生徒は、様々な活動を通して防災に対する知識を得ることができた。また、実践的な学びが多かったため、万が一の時には自ら考え、地域の方々に多少は貢献できるのではないかと期待される。今年度の活動を蓄積し、来年度も改善しながら継続していきたい。